

第24回 東京都公金管理アドバイザリー会議 議事要旨

日 時	令和6年7月29日（月） 13:10 ～ 14:27
場 所	都庁第一本庁舎北塔 33 階 特別会議室 N2
出 席 者	委 員）渥美委員、今井委員、内山委員 事務局）須藤局長、前田管理部長、高橋総務課長、池永公金管理課長、宮良資金運用担当課長
欠 席 者	委 員）根本委員
議 題	（1）邦銀の本決算を踏まえた評価について（案） （2）外銀の本決算等を踏まえた評価について（案） （3）債券発行体の動向等を踏まえた評価について（案） （4）その他
要 旨	（1） 会計管理局長挨拶 （2） 第24回東京都公金管理アドバイザリー会議の公開・非公開の取り決め 本会議は、東京都公金管理アドバイザリー会議設置要綱第5条で原則公開と定めているが、委員の意見を聞いた上で、非公開とすることができると規定している。 議題の内容を踏まえ、委員全員が非公開での実施が適当と表明したことを踏まえ、今回は非公開とすることを決定。 （3） 議題（1）邦銀の本決算を踏まえた評価について（案） 事務局 預金先金融機関（邦銀）の経営状況について、本決算を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関（邦銀）の評価等を報告した。 委 員 預金先金融機関（邦銀）の評価内容とそれに応じた預金の対応については、適正なものとする。 委 員 今後、銀行の資金ニーズが増えてくる状況も想定し、各銀行の経営環境も踏まえたアプローチを幅広く行うなどにより、預金先の分散化を一層進め、安全性の更なる向上に取り組んでいくことが良いのではないかと考える。 （4） 議題（2）外銀の本決算等を踏まえた評価について（案） 事務局 預金先金融機関（外銀）の経営状況について、本決算等を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関（外銀）の評価等を報告した。 委 員 預金先金融機関（外銀）の評価内容とそれに応じた預金の対応については、適正なものとする。 委 員 外銀を預金先として選択するにあたっては、地域の分散を図るという視点を考慮することも重要ではないかと考える。

(5) 議題(3) 債券発行体の動向等を踏まえた評価について(案)

事務局 債券発行体の経営状況について、決算等を踏まえて、健全性等の観点から分析を行い、債券発行体の評価等を報告した。

委員 債券発行体の評価内容とそれに応じた債券運用の対応については、適正なものと考ええる。

(6) 議題(4) その他

事務局 銀行それぞれの特徴を踏まえた、財務指標では測りにくい定性的な事項についての分析・評価方法について報告した。

委員 着目する事項や、その分析・評価の手法などについては、各銀行のビジネスモデルに応じたものであり、妥当と考える。

委員 銀行の株主構成に動きがある場合、それが銀行経営に、プラス・マイナス両面で、どのような影響があるか押さえておくことも重要と考える。

委員 インターネットバンキングでは、容易に預金の移動が可能となる。このため、例えば、ある銀行に係るネガティブな情報が広がると、その銀行において、多額の預金が短期間のうちに引き出されてしまうリスクも場合によっては想定されるので、このことに留意しておくことも重要ではないかと考える。

以 上